

● Photo sketch ●



6/12 ぐるぐる回して 蜂蜜しばり

毎年恒例となった「ミツバチ教室」が陶史の森で開催され、県内外から親子連れら約150人が参加しました。参加した子どもたちは、ミツバチの住む巣箱の観察をしたり、遠心分離機を使用した蜂蜜しばりを体験して、歓声を上げていました。また、搾りたての蜂蜜を食パンにつけて試食をすると「すごく甘い」と驚いている様子でした。



6/16 命を守るシートベルト

県と日本自動車連盟(JAF)主催による、「キッズセーフティ事業」が久尻保育園で行われ、園児33人とその保護者らが参加しました。時速5キロでの衝突体験のほか、JAF指導員や警察官による交通安全講話などが行われました。

参加者からは、「時速5キロでの衝突でも予想以上の衝撃があり驚いた」、「全席シートベルトの着用を徹底したい」などの声が聞かれ、あらためてシートベルト着用の重要性について理解を深めているようでした。



6/17 あかりが灯るのが待ち遠しいね

土岐津保育園で「ランプシェード・壁飾りづくり」が行われ、園児や保護者ら約100人が参加しました。土岐津陶磁器工業協同組合員らの指導の下、親子らは、さまざまな工夫をしながらオリジナリティー溢れる作品を作っていました。

今回作成したランプシェードは、10月に開催される「あかりの夕べ」にて火が灯され展示される予定です。



6/18 ゴスペルとホテルのコラボレーション

鶴里公民館の主催による、「ホテルまつり」が鶴里公民館とその周辺で開催されました。地元の有志、和の会による猪鍋のサービスや屋台、多治見ゴスペルクワイヤーによるリズムカルでパワフルなコンサートも行われました。コンサートでは、会場の運営などボランティアで参加した濃南中の生徒や、まつりの来場者約300人と「世界に一つだけの花」を合唱しました。その後は、鶴里ホテルの里づくりの会の案内により、会場周辺にある「ホテルの小径」へ移動し、ホテル観賞を楽しみました。

ときめきの瞬間



5/26 私たちの声を、私たちの将来に

土岐紅陵高校で「選挙権引き下げに伴う主権者教育」が行われ、3年生生徒106人が参加しました。

生徒らは、県や市の担当者から選挙の仕組みや投票の仕方などの説明を受けたあと、戦国武将を候補者に見立て、実際に模擬投票を実施。投票だけでなく、投票事務や開票事務も自分たちで行いました。

参加した生徒らは、「投票に行く若い人が少ないことがわかった」、「実際に投票に行った際には今日の経験を生かしたい」などと感想を述べていました。

参議院議員通常選挙

投票日 7月10日(日)

午前7時～午後8時

選挙権年齢は18才以上になります。

問 選挙管理委員会 (内線411)



5/29 妻木分団が県大会出場へ

第30回土岐市消防操法大会および第21回土岐市団長閣団が市総合公園で開催され、消防団員約350人らが日頃の訓練の成果を披露しました。

優勝した妻木分団は、8月7日(日)に多治見市星ヶ台運動公園駐車場で開催される県消防操法大会に出場します。皆さんの応援をよろしくお願いします。



6/5 世代を超えたふれあい交流

小雨の降る中、今年で23回目となる三世代ふれあい広場が、土岐津公民館で開催されました。土岐津中学校の生徒59人のボランティアなども参加し会場の運営を手伝いました。紙鉄砲、丸太切り、餅つきなど14コーナー16種類の遊びや体験を通して、子どもからお年寄りまで世代を超えた交流に会場は大いににぎわいました。